

基本構想等の見直しと 今後の整備計画

令和6年9月13日

第4回水道事業経営審議会

現行計画の実施状況と見直し（1）

広域化施設整備計画			R8 以降
	R6	R7	
橋立浄水場の整備			
① 耐震基幹管路の整備（ABルート） 姿見山・寺坂・山口地区への配水計画			
新秩父ミュージアムパーク配水池の建設			
② 別所・久那・尾田・吉田・小鹿野地区への配水計画			
別所浄水場の整備			
③ 皆野第1配水池への配水拡大			
耐震基幹管路の整備（Aルート）			
④ 高篠地区・新三沢配水池への配水計画			
大指地区、古池地区（未給水地区）への供給計画			
⑤			
石原地区への配水計画			
⑥			

【H28～R7の実施状況、見直し結果】

済 : 完了、もしくは計画通り

※姿見山配水池、新秩父ミュージアムパーク配水池は現在、建設中であるが、計画どおり進める予定。

済

済

皆野町三沢地区を先に切り替えることとし、高篠浄水場は令和13年以降の廃止とする。

修

修

大指地区は給水車による運搬送水を検討中。古池地区は費用対効果が小さいため、計画廃止の方針で協議中。

廃

費用比較の結果、現行の設備更新が安価だったため、計画を廃止。

現行計画の実施状況と見直し（2）

広域化施設整備計画			R8以降
	R6	R7	
⑦ 新秩父ミュージアムパーク配水池から長留地区・柴原地区への配水計画			
⑧ 山口浄水場廃止に伴う森下浄水場の配水計画			
⑨ 皆野第1配水池から金沢浄水場エリアへの配水計画			
⑩ 小鹿野浄水場エリアの拡大（竹平浄水場エリア・三山浄水場エリアへの配水）※			
⑪ 河原沢浄水場エリアの拡大（三山地区への配水）			
⑫ 上田野配水池及び橋立浄水場への配水計画			
⑬ 中井浄水場から大畑浄水場エリアへの配水計画			

修

修

済

済

修

廃

修

小鹿野町柴原地区については、ランニングコストの面から現行の谷津川浄水場（秩父市）から配水する方針に計画修正。

横瀬町の日向山を含む配水区域であり、事業費が莫大であることから、再検討が必要。管路ルートや設備などを見直し、R13年度を目標に計画を修正。

※現在、小鹿野町中に高区ポンプ場の建設中。水需要を確認しながら切替を進める予定。

三山地区の水圧確保が難しいため、再検討。

安谷川浄水場系の上田野配水池から橋立浄水場へ送水する計画だったが、費用対効果が小さいため、計画を廃止。

大畑浄水場の配水区域には、森下浄水場から配水する計画に修正。

R8年以降の基本方針

●減少する水需要に対し、健全経営の維持と事業の効率化

- ①管路：マッピングシステムより圏域内の全管路の管種、埋設年度等のデータを元に、重点的に更新すべき管種を抽出
 - ②ポンプ施設等の施設については、施設台帳システムより、データ抽出を行い、施設、設備ごとの優先順位を担当者とヒアリングして投資額を圧縮・平準化
- ◇上記の①、②に基づき、効率的な管路や施設更新を行う

●山間地域における投資規模の見直しと新たな給水方式の検討

- ◇収益性の低い山間地においては新たな投資は控えることとし、最低限の維持管理を行なう
- ◇これまでの整備計画の見直し、運搬送水などの新たな給水方式の検討を行う

●激甚化する自然災害に対してリスク管理への対応

- ◇防災拠点や避難所及び医療施設等の重要給水施設を定め、災害時においても給水可能な管路の強化を図る

R8年以降の更新計画

基盤強化に計画をシフトしていくこととし、費用対効果の高い事業を選定して実施。
基本方針にかかる主な事業は以下のとおり。

【減少する水需要に対し、健全経営の維持と事業の効率化】

●市街地などの管路更新

●大口企業などに係る施設・管路整備



・有収率の向上

・管路更新率の向上

【山間地域における投資規模の見直しと新たな給水方式の検討】

●ポータブル式の浄水施設・設備の設置

●給水車による運搬送水の検討



・将来の需要を見込んだ
費用の削減

【激甚化する自然災害に対してリスク管理への対応】

●重要給水施設配水管の布設



・補助金を活用した災害
対策

令和8年度以降の更新計画(①設備)

～水道施設台帳システム、アセットマネジメントを活用した設備更新～

令和4年に整備した施設台帳システムにより令和17年度までに更新需要が発生する設備を抽出し、次の更新優先度に分類した。

(単位：千円)

- 優先度0: 令和5～7年度で更新予定の設備
- 優先度1: 令和8～12年度で更新すべき設備
- 優先度2: 令和17年度までに更新すべき設備
- 優先度3: 令和17年度以降の更新でもよい



皆野・長瀬事務所									
更新対象設備									
設備ID	施設	更新 対象	設備名称	設置年 (西暦)	更新基準	次回更新年度	現在価値	概算工事費	更新費用 (円、税抜)
3853	皆野第1配水池	1	計装テレメータース	1997	30	2026	13,438,859	25,000,000	25,000,000
3857	皆野第1配水池	1	秩父受水制御盤	1997	25	2026	13,552,148	15,000,000	15,000,000
3897	皆野第2配水池	1	テレメータース	1997	30	2026	13,438,859	15,000,000	15,000,000
3901	皆野第2配水池	1	流入調整制御盤	1997	30	2026	13,552,148	15,000,000	15,000,000
3940	国神第2送水ポンプ場	1	No.1遠方監視制御装置	2003	20	2026	14,985,907	20,000,000	20,000,000
3941	国神第2送水ポンプ場	1	No.2遠方監視制御装置	2002	20	2026	15,162,212	20,000,000	20,000,000
4045	山中配水池	1	引込柱	1977	25	2026	355,736	200,000	200,000
4046	山中配水池	1	引込開閉器盤	1977	25	2026	3,536,430	10,000,000	10,000,000
4047	山中配水池	1	監視盤	1977	20	2026	19,188,793	30,000,000	30,000,000
4048	山中配水池	1	流出バルブ	1977	40	2026	2,908,661	2,520,000	2,520,000
4049	山中配水池	1	流入バルブ	1977	40	2026	2,908,661	2,520,000	2,520,000
4050	山中配水池	1	排水バルブ	1977	40	2026	2,908,661	2,520,000	2,520,000

施設台帳システムの抽出データ(一部抜粋)

事務所別 更新事業費	R 8～12	R 13～17	R 18～	合計
	1	2	3	
工務・浄水課	1,171,884	242,342	589,346	2,003,572
大滝・荒川事務所	401,758	245,693	2,478,850	3,126,301
西秩父事務所	171,011	1,187,219	940,639	2,298,869
横瀬事務所	0	1,093,731	266	1,093,997
皆野・長瀬事務所	173,536	42,635	594,914	811,085
合計	1,918,189	2,811,620	4,604,015	9,333,824
1年あたりの事業費	383,638	562,324		

緊急性もしくは重要度が高いものとして、経過年数だけでなく、点検結果や使用状況、さらに将来の運用を踏まえて設定。

※ 「優先度2」に比べても事業費は少ない(圧縮)。

令和8年度以降の更新計画(②管路)

～災害対策として、重要給水施設の設定と更新計画～

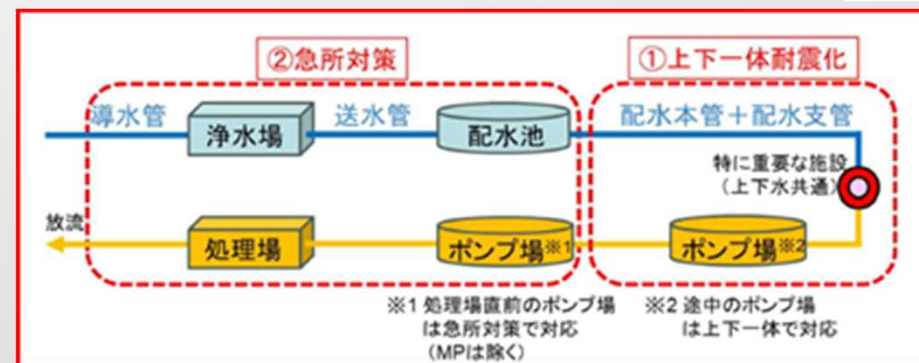
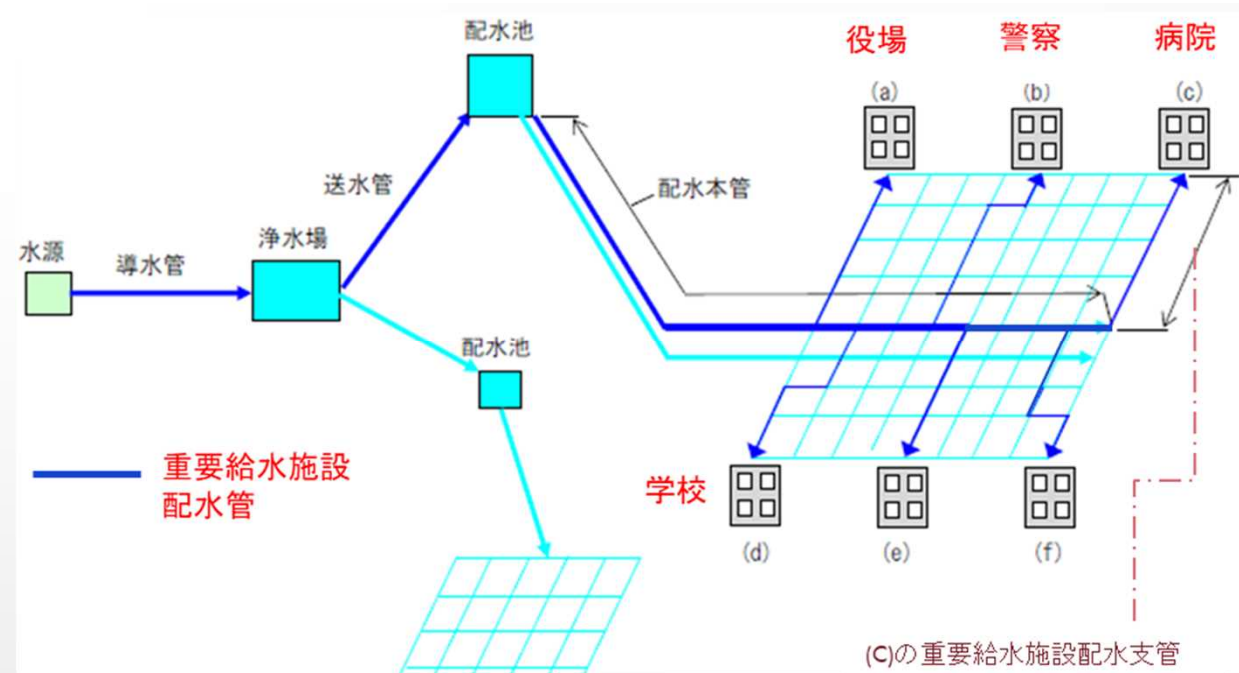
重要給水施設: 災害時に重要な拠点となる病院等の給水優先度が特に高い施設

重要給水施設として、圏域内で計108施設を定めた。

	防災拠点	避難所	医療機関	福祉施設	合計
秩父市	9	18	7	14	48
横瀬町	3	8	0	5	16
皆野町	4	10	2	2	18
長瀬町	1	7	1	4	13
小鹿野町	4	5	1	3	13
計	21	48	11	28	108

利用可能な補助金: 重要給水施設配水管
(補助率: 1/4)

地域防災計画等において、災害時に重要な拠点となる病院等の給水優先度が特に高い施設への配水管を耐震化するもの。



(参考)
R6から新たに
上下水道一体
で重要施設を
定めることとな
り、今回計画で
設定済み。

整備計画のまとめ

これまでの広域化整備計画（H28～R7）

将来の更新需要や維持管理費を圧縮するため、50年先を見据えた施設の再構築を進めてきた。

今後の整備計画（R8年度以降）

今ある資産（施設及び設備）の長寿命化を図って、各地域の需要に沿った維持管理を主軸とした計画へとシフトしていく。また、併せて災害に備えた対策として、各地域に避難所及び医療施設等の重要給水施設を定め、給水可能な管路の強化を図る。



R 8～1 2 年度（ 5 年間 ）の整備計画

R8～17年で必要な事業を積み上げると、総事業費は約1,140億円、**年平均では約114億円**。
より重要度の高いもので選定が必要

広域化以前から更新すべきものの「つけ」がたまっている



**これまでの広域化事業の残事業と、新たな重要給水施設配水管の事業を含め、
建設工事は年間20億ほどに圧縮して実施することを前提に整備計画を精査。**